



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

NOVEMBER 1990 vol. 5

The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1990~1991)

- | | |
|---------------------------------------------|------------------|
| I P Individual effort makes the difference. | 個々の相異で輝く業を |
| A P Think Globally, Act Locally. | 地球規模の発想でローカルな実践を |
| R G D G One Step for the Future | 未来へ向かって一歩 |
| C P | 活気ある協りに生きよう |

今月の強調テーマ BF・EF および世界祈禱週間

BF活動方針

- 1、決められた目標額を達成すること。
 - 2、全ポイント中での切手ポイントの割合をなるべく増やすように努力すること。
- …その為に「メンバー全員がBFに関心を持ち、全員が毎月かならず使用済切手を持参出来るようになること」を最大の目標としたい。

BF委員長 杉浦眞喜子

今月の聖句

「なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁(はり)を認めないのか。自分の目に梁があるのに、どうして兄弟にむかって、あなたの目からちりを取らせてください、と言えようか。偽善者よ、まず自分の目から梁を取りのけるがよい。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からちりを取りのけることができるだろう。」

(マタイによる福音書第7章3~5節)

11月第1例会

日時 1990年11月21日(水) P, M, 6:30~8:30
 会場 YMCA国際社会奉仕センター

司会 三浦直之君

- 1、開会点鐘 福永嘉彦会長
- 2、クラブソング 同
- 3、聖句朗読 柴田 健君
- 4、ゲスト紹介 福永会長
- 5、日々の糧 同
- 6、晩餐
- 7、入会式(秋月利英氏) 福永会長
- 8、卓話「近年とみに活発化した
 YMCAの国際プログラム」
 大阪YMCA主任主事 田中義信氏
- 9、BFしよう BF委員長 杉浦眞喜子君
- 10、お誕生祝い
- 11、ニコニコ献金 ドライバー
- 12、役員会、委員会報告、YMCAニュース
- 11、閉会点鐘 福永会長

今月の当番(会場準備、あとかたづけ等)
 中村君、柴田君、中堂君、三浦君、森君
 (以上第5班)

注:上記の「BFしよう」の時間に古切手整理の実際を実演しますので、当日はできるだけ沢山古切手をもってきて下さいネ。

…杉浦眞喜子より愛をこめてお願い…

10月 出席状況

会員数	36名
第1例会出席会員	25名
他の会合(YMCA関係)でMU	1名
ゲスト	2名
メネット	5名
第2例会出席会員	15名
うちMU	2名
ゲスト	1名
メネット	1名
*出席率	77.78%(前月 61.76%)

10月 BF報告

	現金	切手
10月	103	2,000 Pt.
累計	1,054	11,720 Pt.

10月の切手提供者:(順不同)足立君、田中君、鈴木君、隅田君、藤原君、黒田君、柴田君、山田君、山村君、上月君、横山君、佐藤君、河野君、湯浅君、福永君、蔭山君、平田君、津田君、杉浦君、YMCA社会奉仕センター、(9月分追加:上月君)
 (注)元会員桂知良氏よりご協力いただきました。

11月にHappy Birthdayを迎えるおめでたい人々			
掛江メネット	27日	松尾メネット	19日
蔭山メネット	27日	山村君	6日
真嶋君	29日	横山メネット	13日

IBC・YEEPを語り合った10月例会。

山田 孝彦

10月例会は先月入会の伊藤君・津田君、来月入会予定の秋月君。新たに柴田君のゲストとして電通の八木氏。それにメネット5名の出席で、会場はフレッシュな熱気に満たされた。

今月のテーマに従ってまず鈴木謙介君がIBCについて語る。もとよりワイズの生き字引だから、その歴史から目的、そして現状と問題点など、特に新しいメンバーの理解促進を意識してのお話であった。「IBCは形だけ結んでも、実際の交流が盛んでなければ意味がない。」そこでわがクラブのトライアングルを活性化するために、来夏香港でヌアヌ（ハワイ）・ポヒニア（香港）・センテニアルのジョイントプログラムを実現しようと確認した。

続いて蔭山孝幸君が「YEEPについて思うこと」と題してスピーチ。昨年度1年間わがクラブが中心となってデンマークから受け入れた、YEEP学生ヤコブ君のホストファミリーあるいはカウンセラーとしての経験から、今後のYEEPの進め方についての提言をされた。「何よりも事前に双方が十分なコミュニケーションを計り、国情による生活慣習や、文化・価値観の違いを具体的に理解しておくこと。」「不都合が生じた場合には中断することも含めて、相互確認条項を明確にしておくこと。」「お互いワイズだから、なんとか分かりあえるだろうといったあいまいさは、かえって誤解を招くこと。」「ホストファミリー側も事前に十分な研修をして、各家庭での接し方のレベルを出来るだけ合わせておくこと。」など、生々しく実際の意見を発表された。このことは、YEEPマニュアル整備委員の黒田蔵之君を通じて日本区に反映され今後の事業運営に生かされるはず。

奉仕センターの藤井主事から、恒例の「留学生エイドバザー（11月17日）」についてのアナウンスがあり、当クラブのYサ・CS事業として積極的協力することを約して閉会した。

10月例会の

ニコニコメッセージより

鈴木さんのIBCのお話を伺い、益々Triangleの推進に意欲を燃やしています。蔭山さんのYEEPの具体的なよきお話を感謝しています。御苦労さまでした。

福永嘉彦

*その他卓話のお二人への感謝を述べた言葉を寄せられた方々

湯浅、佐藤、杉浦、山村、三浦、藤井、横山、隅田、津田葉各会員、福永、佐藤、平田、黒田各メネット
ハワイヌアヌクラブにて大変楽しいパーティに招待して頂きました。平田雅利
新会社設立後間もなく会議中抜けて来た関係でこの例会には遅刻と早退。そのお詫びと多忙な喜びと、中途でも出席できた事の感謝。松添 壮

ゲスト八木邦欣氏のご出席を記念して。柴田 健
ワイズに入会して16年ややマンネリでしたが、最近入会当時の記録を整理していて、初心にかえってやりなおそうと思いました。中村隆幸

Q&A「CSって何？」シリーズ（第3回）

CS委員 山田 孝彦

Q「TOFとCSはいつも並べて言われますが何か関係があるのですか？」

A「ワイズメン運動史によりますと、もともとは『HUMAN CRISIS』即ち、人類の危機に対処するという人道的な発想で始まった一つの事業です。現在ではCSは日本区の事業として、TOFは国際レベルの事業として成果をあげています。

TOFは毎年2月をTime of Fastの月と定め、例会の食事を断ち「飢え」について考える。そしてその食費分を国際を通じて、発展途上国の青少年の援助プロジェクトに献ずるという事業です」

Q「ファミリーファストとって、竹の貯金箱など頂いたりしましたが？」

A「HUMAN CRISISの原点から言えば、年一回の行事に終るのでなく、もっと日常生活のなかで真剣に考えるべきテーマではないでしょうか。私達日本人は、日々の豊かな生活に慣れて「グルメだ。飽食だ。」などと浮かれています。戦中派世代のあの飢餓体験も、記憶の彼方に薄れてしまいました。ましてや若い人達はどうでしょう。一方目を世界に転ずれば、今もなを飢えに苦しみ、死と直面している人達がいかに沢山あることでしょう。毎日の生活のなかで、家族とともにこういう人達を思い遣る対話を取り入れていこう、というのがファミリーファストの願いです。 <つづく>

今日は上々の出席率を示して大変喜ばしく欠席の方にはぜひとも第2例会でメイクアップをして頂きたい。

鈴木謙介

昨日（10月16日）が結婚記念日でした。実は昨夜家内にいわれて思い出した次第です。田中穰二

遅刻ながら2回も続けて出席できることを喜びつつ。

川越利信

前回よりクラブの原点に立帰ったトピックスをとりあげて頂き、経験不足のY's Menとして大変参考になりました。

藤原正己

ゲスト参加でしたが卓話など有意義でした。

八木邦欣

先月のゲストスピーカー神田和則記者と社内で立話をしていたら、「先月いただいた謝礼はマザー・テレサを支援する会に寄贈させていただきました」とのことでした。

中堂祐保

業界の公務で多忙のためお役に立てず申し訳ないと思っておりますのに、本日立派な副会長バッジを頂き肩にズッシリ重い責任が乗った気がします。

上月英子

IBC、YEEPについてのお話しを聞き、大変勉強になりました。少しずつ視野を広げていきたいと思えます。

伊藤勝康

メネット会の報告

福永 滋子

日時 1990年10月5日(金)1:30~3:40PM

場所 YMCA国際社会奉仕センター

出席者 伊藤、黒田、佐藤、鈴木、平田、田中、
谷川、山村、横山、福永各メネット

今年度第一回のメネット会に10名の方々の御参加を頂き、御相談や御報告、藤井主事さんより留学生の実態、基金について有意義なお話を伺い、また物品販売等楽しい交わりの一時を過ごす事が出来感謝でした。

報告

- 1、留学生エイドバザー(11月17日)当日のお手伝いは現在4名のお申出がありますが、献品、紙袋提供、予約販売(別便)にも御協力下さい。
- 2、留学生の成人式のために留学生基金より前年通り協力します。
- 3、留学生基金のための物品販売…万能茶、洗剤、靴下、肌着等随時販売しておりますので御協力下さい。
- 4、メネット・ナイト、4月に変更されました。
- 5、日韓母親合唱団演奏会(1991年5月18・19日)
中西部各クラブメネット会からお土産を贈りたいとのことです。日本的なもので何かよいアイデアをおきかせ下さい。(商品または手作りの品で費用は1個1,000円位)

次回のメネット会は3月の予定ですが、12月20日のクリスマス家族例会はじめ毎月の例会にも是非御出席下さい。以上



「留学生エイド・バザー」 への協力についてお願い

Y・サ/CS事業委員
奉仕センター恒例の「留学生エイド・バザー」が11月17日(土)10時から開催されます。センテニアルの事業として積極応援をします。詳細は別便にてお知らせしますが、献品・事前販売・当日応援など、例年のとおりメン・メネットのご支援、ご協力をお願いします。

お断り

「ブラザークラブの起り」(連載記事)は紙面の都合で今月は休みます。

中村次郎日本区理事 からの返信

1990.10.16

黒田蔵之様

御元気でしょうか。私もおかげ様でY's Lifeを楽しませて頂いております。(中略)

さて、「difference」の訳ですが、日本区でも、いろいろと訳をされていましたが、理事アドバイザーの諸岡和彦さん(元YMCA研究所委員長、九大教授で、社会教育の専門家です)に訳してもらい採用し、日本区役員会、YMCA同盟などの了承を受けております。I. P. と話し合い本人が使われた意味を採択しました。相違ということ、違っている=誤りであるという意味が日本語には多少あるので、異なる”difference is great”と云われるように、相異こそすばらしいことであるという意味で、相異を使っております。どうか相異に統一して頂ければ有難いと思います。辞書にも明記されております。(cf. 同封)

「ブリテン」の言葉ですが「ブレテイン」と云うのが、原語には一番近い(英語では)ように思いますがドイツ語、フランス語などではどうでしょう。私は時々気がつくのですが、いつか日本区でも話題にしてみたいと思っています。

御働きの上に神の豊かな祝福を祈ります。

注:上記の手紙は、私(黒田)が、国際会長の標語の邦訳が日本区で「個々の相異で……」となっている。しかし先月まで我がクラブのBulletinに書いていたように、「個々の相違で」が正しい日本語ではないかということ、及びBulletinの読み方が最近一般にブリテンと読まれているが、これはおかしいのではないかとの2点について、中村理事に質問したことへの返信です。一会員からの質問状に対し、忙しい中をわざわざ返事をよこされた中村理事の誠意に心から敬意を表しました感謝したいと思います。(黒田蔵之)

自己紹介

伊藤 勝康

我が家は妻えりお、一人娘久実子、母文江、健康ワンチャン「リサ」の女系一家であります。出生は北海道函館市生まれの道産子で、中学3年の途中で三重県四日市へ転居、三重県立四日市商業高校を卒業し興亜火災へ入社しました。

その後、名古屋、津、金沢、今治、浜松、岐阜、広島、大阪へと転勤を重ねました。お蔭様で各地で素晴らしい人達との出会いをいただき、様々な気候風土、文化、生活習慣にふれてきました。転居は8回を数えます。

今治でリサとの出会いのあと朝型人間に轉身し、毎朝30分程、散歩を、10年間継続しております。お蔭で健康に恵まれ現在に至っております。

生活信条は家族も含めて温かい人間関係をいかに作りあげるかをモットーとしています。趣味はドライブ旅行、最近では専ら京阪神の景勝地を四季折々妻と2人で散策しています。今年の2月オーストラリアを訪れました。今後出来るだけ機会を作り世界各地を訪れ見聞を広めたいと思います。

私たちのブラザー

.....ハワイ、ヌアヌ・クラブの動き.....

谷川 寛

私たちのブラザー、ヌアヌ・クラブの所属するハワイ区の動きをお伝えしましょう。

下のチャートは近着のハワイ・リジョンの区報にあったものです。これでお判りの通り、ハワイには7つのクラブがあり、今年の4月1日現在133名のメンバー数です。従ってあまり大きなリジョンではありません。新メンバー獲得のキャンペーンを行っていま*

＊ですが、なかなか大変のようです。以前はハワイ島のヒロ・クラブがメンバー数で一番大きかったのですが今は私たちのブラザー、ヌアヌ・クラブが33名を有し、一番大きく活発なクラブに成長しました。

日本のワイズで、ハワイにブラザーをもつことを希望するクラブがたくさんありますが、ハワイ側の海外にブラザーをもつことへの情熱に限度があり、必ずしも成功していません。私たちもヌアヌとの関係を大切にしましょう。

SEPTEMBER 1990

THE BULLETIN BOARD

Page 5

MEMBERSHIP & CONSERVATION ... "EACH ONE .. REACH ONE"

LET'S GET THOSE MEMBERS!

Goal is NET TWO (2) MEMBERS for EACH CLUB!

Club	4/1/90 Roster	Change	9/22/90 Estimate	5/91 goal	Required to reach goal at 5/91
East Kaula	15	0	15	17	2
Hilo	29	+6	35	31	-
Kaimuki	21	+3	24	23	-
Maul	8	0	8	10	2
Nuuanu	33	-2	31	35	4
West Oahu	15	+5	20	17	-
Windward	12	0	12	14	2
Total	133	+12	145	147	10

REGIONAL CONVENTION's ACHEIVERS GOAL is 24 new members!

IN THE YEPP CORNER

ADRIANA BUTTERMAN, ASD YEPP, writes that although the goals and objectives are the same as 1989-90, there continues to be a need for U. S. Host Families and U. S. students who want to become YEEPs in other parts of the world.

US AREA CONVENTION

San Antonio, Texas
July 25 - 28, 1991

第8回日本YMCA大会報告

福永 嘉彦

ザ・コミュニケーションPart 2~新しいつながりをもとめて~の主題のもと、美しい富士山を眺めつつ、深い森林に囲まれた自然界の真只中、それら木々の香りに新鮮さを満喫しつつ2日間を過ごすことができた。

特にメインプレゼンテーションで統一前東ドイツYMCA理事長ギュンター・シュテフェンハーゲン氏は”神への祈りこそが世界を変えた。この神を全ての人々の前で告白したい”と苦難を克服し平和を獲得した体験を通し力強く語られたのが印象的であった。

わがクラブから鈴木、谷川両氏と私が参加、ワイズメンが3割も占めていた。多くの方々との交わりのおかげにこの大会の意義を感じた次第である。

11月第2例会

日時 1990年11月28日(水) 6:30PMより

場所 YMCA国際社会奉仕センター

協議事項 クリスマス家族例会プログラムの確認

1月及び2月例会プログラム

その他

どなたでも気軽にご参加下さい。

お知らせ

- 1) 11月21日の第1例会で全員の写真を撮ります。これはブラザークラブへのクリスマス・カードと一緒に送るためのものです。写真写りのよい方も悪い方も多数ご参加下さい。
- 2) クリスマス家族例会 予告
日時 12月20日(木) 6:30PMより
会場 平田ビル(平田会員の会社)9F
オレンジホール(地下鉄四つ橋線本町下車)
会費 メン、メネット、コメット、ゲストみんな
5,000円(小学生以下は半額)

編集後記

今月号は載せなければならない記事が多く、津田葉会員から自己紹介の原稿を頂いていましたが、来月にまわすことをお許しください。また福永会長ご提供の東山荘でのお写真、河野、黒田両会員のニコニコメッセージ、「ブラザークラブの起こり」、ワイズソングも割愛せざるをえませんでした。心よりお詫び申し上げます。来月はいよいよクリスマス、12月2日のクロスマスも併せて祝いましょう。